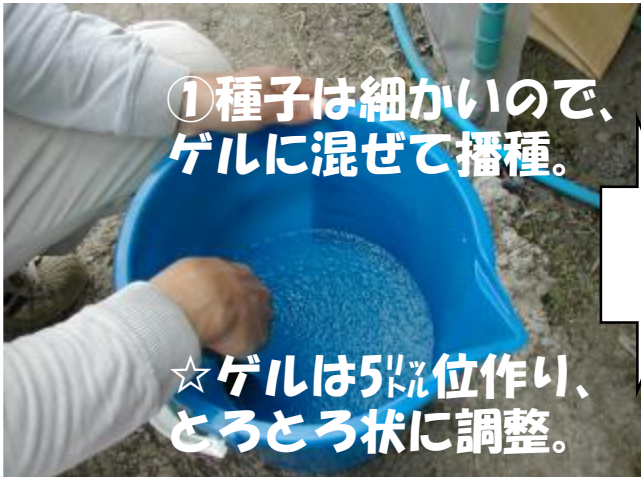


**村山総合支庁 食産業の総合支援プロジェクト
「新カメムシ対策によるエコ米の里づくり」**

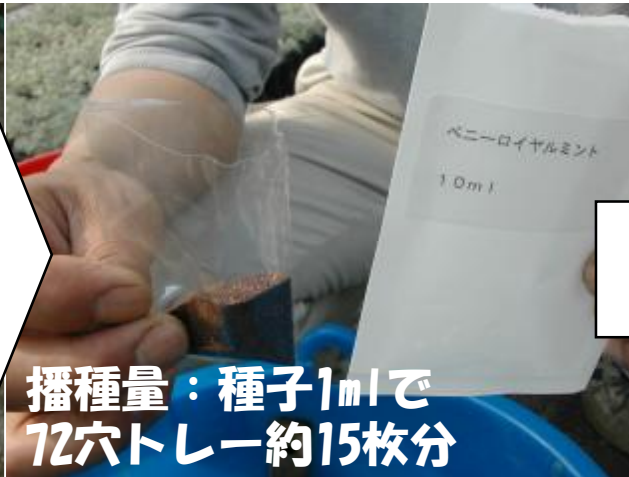
**グランドカバープランツによる畦畔管理技術
苗作りから定植まで**

**平成19年3月
村山総合支庁プロジェクトむらやまアグリチーム**



① 種子は細かいので、ゲルに混ぜて播種。

☆ゲルは5%位作り、とろとろ状に調整。



播種量：種子1mlで72穴トレー約15枚分



② 種子をゲルに混ぜる



⑥ 最後に水かけ

タネ播き手順



③ ゲルをペットボトルに移し、注ぎ口をセット

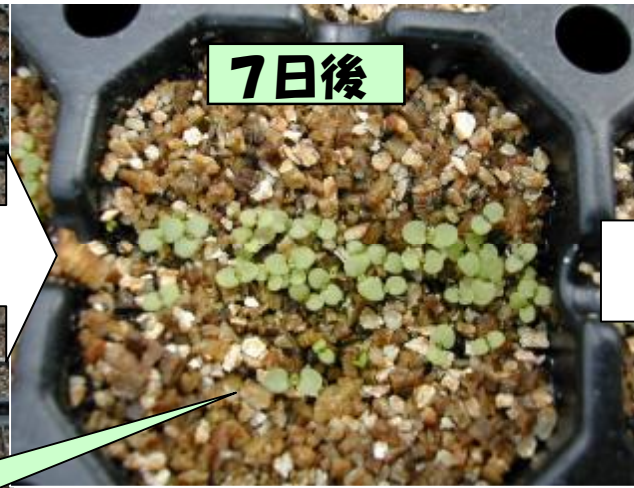


⑤ バーミキュライトで覆土



④ セルトレーに播く(ゲルを垂らす感じ)





5日後位で出芽してくる。乾燥しすぎないように。

苗づくり

苗立ち本数が多い場合、間引いて1穴3~4本に調整。

根鉢ができて、セルからすっぽり抜ける。

肥え切れすると赤くなってくるので、液肥で追肥する。



梅雨に合わせて、水田畦畔に定植

除草

植え穴：苗がもぐる程度

施肥

定植前は、なるべく草をなくしておく。

苗の定植

セル苗

定植の手順

植え穴



施肥(緩効性肥料)



苗



ギュー(踏む)



水(タップリ)

乾燥に弱いため、梅雨時の定植がベター。

20~30cm間隔の千鳥植え

定植

定植2年目

管理方法により異なる様相

6月に草刈り
しない部分は、
7月～8月開花。

6月に草刈りすると
芝状に再生。

7月上旬



【 問合せ先 】

山形県村山総合支庁産業経済部農業技術普及課
〒990-2492 山形県山形市鉄砲町2丁目19-68
Tel (023)621-8290 Fax (023)621-8275
E-mail murayamanofu@pref.yamagata.jp